

平成23年度 第1回 千葉県安全性向上プロジェクト委員会 議事要旨

■ 開催日：平成23年12月14日（水）

■ 場 所：千葉市内 千葉市中央コミュニティーセンター 8F 海鷗

■ 出席者：

千葉工業大学 工学部 教授	赤羽 弘和（委員長）
千葉県警察本部 交通部交通総務課	藤井 等（代理）
千葉県警察本部 交通部交通規制課	高木 善行（代理）
(社)千葉県トラック協会 交付金事業部長	鶴巻 成男
(社)千葉県バス協会 専務理事	花崎 幸一
(財)千葉県交通安全協会連合会 事業管理課長	松野 勉
(社)千葉県安全運転管理協会 事務局長	黒瀬 明
(株)千葉日報社 業務局長	鎗田 光明
千葉県県土整備部道路環境課長	小野 正徳
千葉県環境生活部生活・交通安全課	荒木 健一（代理）
千葉市建設局土木部長	中台 公明
首都国道事務所 所長	杉崎 光義
千葉国道事務所 所長	遠藤 和重

■ 議事

(1) これまでの取組みについて

○昨年度の事故ゼロプランの導入から事故危険区間の選定経緯の説明、また、広報活動等の事故ゼロプランの活動内容や対策箇所の進捗状況を報告した。

- ・ 効果評価について、事故データによる評価では対策後、数年程度の時間が経過しないと評価できないため、短期間で評価できる挙動調査等も検討したほうが良い。
- ・ また、事故要因分析結果や対策のねらい適切度を検証したほうが良い。
→ 今後、検討する。
- ・ アンケート結果について、千葉市の回答数が多いが、その理由を教えてください。
→ 地域性の偏りについては、次回委員会で報告する。
- ・ 木更津金田地区のように大店立地法の対象になっている箇所は、その審議結果も事故対策に反映させると良いと思う。

(2) 今後の事故ゼロプランの取組みについて

○事故ゼロプランの目標の設定、事故危険区間リストの更新の考え方について審議した。

○削減目標について

- ・ 削減目標について、現状の事故の中で飲酒運転等の道路交通環境では対応できない事故はどれくらいある把握しているか。また、それらの事故を対象にしてもよいのか。
- ・ インフラ側での対応がどれくらい事故を削減できるかを把握することは、千葉県全体の効果を理解してもらうには重要である。

- ・ 削減目標については、いろいろな要因が重なっているため、トータルでみるのが良いと思うが、道路管理者側として道路交通環境側の削減量を整理しておくが良い。
→ 削減目標について次回委員会までに考え方を整理する。

○事故危険区間リストの更新について

- ・ 二次点検プロセスのように経験を共有することは有効である。
- ・ 事故危険区間リストの更新の削除条件について、統計的検定を導入することで判定したほうが良い。
- ・ 抽出指標について、人命を救うことを念頭に歩行者、自転車事故は他の指標よりも重みを付けてほしい。
→ 「歩行者・自転車×車両事故」や「高齢者事故」、「横断歩行者事故」といった複数の指標を採用した結果、歩行者、自転車の重みは相対的に増している。
各指標のワースト 30 の箇所を抽出していたが、歩行者、自転車関連の指標については、ワースト 50 まで抽出するよう試算する。

(3) 今後の予定

- 第 2 回委員会は、来年 2 月頃を予定している。
- 審議内容は、今回の審議のフィードバックや代表区間の提示を予定している。